

事業者向け 児童発達支援自己評価表結果

実施日 令和5年1月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・児童に合わせた環境作りを設定しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・規定プラス保育士1名増員し対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・規定に基づき行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容にねらいを考え、毎日全員で活動の反省を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・面談時などで保護者から頂いたご意見などを取り入れ日々の活動や行事を行っています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人HPやHUGシステム内で公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・法人の内部監査、各委員会活動にて事業所以外の職員に評価してもらっています。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・今年度は新型コロナウイルスの影響で外部研修に行く事が出来ませんでした。WEB研修の参加や事業所内での勉強会を行い、知識の向上を図っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・児童からの聞き取りと保護者との面談を行い、事業所内で個別支援会議を開催した上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・児童へのアセスメントシートを作成し、児童の意見や意思を聞く機会を設けモニタリングや計画に反映しています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・個別支援計画に基づき、活動の設定や行事、関わりなどに繋げています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・具体的な支援計画を立て、計画に沿って支援を行っています。

	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎日全員でMTを行い、支援内容や支援方法を話し合い共通理解しています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・個々の特性や状況に応じた対応や活動を考え、個別支援計画を基に取り組んでいます。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			・個々の特性や状況に応じた支援方法、個別活動・集団活動を組み合わせて計画を作成しています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・職員全員で、活動内容や支援方法など確認し、役割分担をしてより良い支援になる様日々話し合っています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日活動を振り返り、対応や児童の状況を共有し記録に残しています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別記録やサービス支援記録を毎日記録し支援の検証をしています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・中間評価により、計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管中心に参加し、会議の内容をスタッフ全員に報告し共有しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・地域の関係機関と関係者会議を行い連携しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在、医療的ケアを必要とする児童はいませんが、受け入れの際には体制の整備を行います。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・受け入れの際には、事前に連絡を行い情報提供を頂き連絡体制を整えます。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・今年度は児発から放デイへ移行する児童がいる為、情報共有を図り相互理解に努めます。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		・現在、該当する児童はいませんが今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、情報を提供していきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・近隣市町村の事業所と一緒に勉強会や研修会を行っています。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・現在、一緒に活動する機会はありませんが、今後一緒に取り組みます。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・今年度は新型コロナウイルスの影響で協議会への参加の機会はありませんでしたが、今後協議会が開催された時は積極的に参加させていただきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時やHUGシステム、お電話などで伝え合っています。又、定期的なモニタリングの機会を活用しています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・今年度は行っていませんが、今後のご家庭で個々に合った有効な関わり方など話し合う機会や情報提供する場を設けていきます。
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・支援計画を作成し、保護者に説明し同意を得ています。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談された場合には、適切に応じ丁寧な対応と必要な助言や支援を行う様努めています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する事により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母の会はなく、保護者同士が連携し合う事は少ないですが、今後保護者会を開催し保護者同士が連携しやすい場を作っています。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・マニュアルに基づき迅速に対応します。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・HUGシステム内で情報を発信しています。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・契約時に説明し注意して取り扱っています。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・児童や保護者の特性に合わせた対応を心がけています。 ・分かりやすい説明や連絡手段を個別に検討しています。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待をする等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・週1回事業所を開放しきつずダンスを行い利用児童と地域の児童と一緒に活動しています。
		㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		

非常時等の対応	④1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年4回の避難訓練を実施しています。
	④2	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に確認しています。
	④3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者を通じ医師からの指示に基づき対応しています。
	④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット委員を中心に毎月ヒヤリハットMTを実施し事例検討を行いスタッフ全員で共有しています。
	④5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人内で虐待防止委員会があり、外部研修にも参加し、事業所内で伝達し勉強会も実施しています。
	④6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・やむを得ずの対応について、支援計画に記載し、事前に保護者に説明して同意を得ています。